

収支の検討について

1. 前提条件

運賃収入目標は、収入全体の35%以上（4200万円/年以上）

バスの利用者予測は、330,690人/年

高齢者の乗車率

高齢者65歳以上の乗車率は、73%（241,403人）

高齢者70歳以上の乗車率は、58%（191,800人）

高齢者75歳以上の乗車率は、43%（142,196人）

路線バス230円区間の乗車率は、7%

2. 基本運賃と高齢者の割引運賃について

基本運賃と高齢者割引運賃の組み合わせによる収支率（ ）内は年間の収入合計額（単位：万円）

基本運賃 高齢者の割引運賃	100円均一	150円均一	200円均一	210円均一	210円～230円の 区間制
割引なし	27.6% (3307)	41.3% (4960)	55.1% (6614)	57.9% (6944)	58.3% (6991)
75歳以上割引 割引運賃 100円	-	35.4% (4249)	43.3% (5192)	44.8% (5380)	45.1% (5407)
70歳以上割引 割引運賃 100円	-	33.3% (4001)	39.1% (4696)	40.3% (4835)	40.5% (4854)
65歳以上割引 割引運賃 100円	-	31.3% (3753)	35.0% (4200)	35.7% (4289)	35.8% (4302)

定期券、乗り継ぎ割引等を導入する場合、収支は数%減少する。

3. 割引運賃について

割引の種類	具体事例	課題・検討の視点	実施の有無 (または×)
高齢者割引	<p>兵庫県神戸市</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内在住の70歳以上の高齢者を対象に、低額(100円(経過措置中は50円))で市内の路線バスが利用できる敬老優待乗車証(ICカード方式)を発行している。(低所得者には乗車券を配布) <p>大阪府四条畷市</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内在住上の65歳以上の高齢者を対象に、半額(100円)で市内のコミュニティバスが利用できる高齢者割引証(紙方式)を発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者割引の適用年齢を何歳からにするのが望ましいのか。 割引の対象は箕面市民限定とするのか。 割引の対象者であることを証明する方法はどのように行うのか。(乗り継ぎ券の発行、ICカードや磁気カードを機械にて自動処理) 他の割引との併用をどうするのか。 	
小児割引	<p>阪急バス、阪神バス、大阪市交通局、神戸市交通局など</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児運賃は、普通運賃の5割引(半額)で利用可能。 利用者が同伴する6歳未満の幼児は、2人まで無料。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の割引との併用をどうするのか。 	
障がい者割引	<p>阪急バス、阪神バス、神戸市交通局など</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳等の提示により、普通運賃の5割引(半額)で利用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の割引との併用をどうするのか。 	

割引の種類	具体事例	課題・検討の視点	実施の有無及び優先度
乗り継ぎ割引 (新しいバス同士)	滋賀県栗東市(くりちゃんバス) ・ 指定の停留所でコミュニティバス同士を乗りついた場合、2回目の運賃が100円引きで利用可能である。 (参考: コミュニティバス 路線バスも同様)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全停留所に適用するのは困難。 ・ 乗り継ぎを実施する停留所はどこにするのか。 ・ 乗り継ぎ時の運賃をいくりにするのか。 ・ 適用する場合の乗車券類の処理をどのように行うのか。 	
乗り継ぎ割引 (新しいバスと路線バス)	京都府八幡市(コミュニティバスやわた 京阪バス) ・ 指定の停留所で路線バスとコミュニティバスを乗り継いだ場合、2回目の運賃が50円(150円引き)で利用可能である。 (運転手への申告制) 大阪府吹田市(すいすいバス 阪急バス) ・ 指定の停留所で路線バスとコミュニティバスを乗り継いだ場合、合計で350円(60円引き)で利用可能である。(すいすいバスの車内で乗り継ぎ券を購入して利用する。) 大阪市(市バス 市バス、赤バス) ・ 乗り換え、乗り継ぎで90分以内に次のバスで降車した場合、通しの料金(加算なし、ただし赤バスから市バスへの乗り継ぎは合計で200円)で利用可能である。(現金、回数券は乗り継ぎ券を乗務員が発行、ICカード、磁気カードは機械にて自動処理)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全停留所に適用するのは困難。 ・ 乗り継ぎを実施する路線及び停留所はどこにするのか。 ・ 路線バスの減収分の負担も考慮して、乗り継ぎ時の運賃をいくりにするのか。 ・ 適用する場合の乗車券類の処理をどのように行うのか。 	
家族割引	阪急バス、京阪バスなど ・ 土曜・休日に通勤定期券を保有する人が家族同伴でバスを利用した場合、「環境定期券制度」という名称で、同伴の利用者の運賃を100円(小児は50円) 本人についても区間外での利用が100円で利用できるようにした制度を導入している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいバスにだけ制度を導入するのか。また、路線バスの定期券利用者にもサービスを提供するのか。 ・ 割引の内容はどのようなものにするのか。 ・ 定期券以外の利用者にも範囲を拡大するのか。 	

	<p>京都府南部の各市町（宇治市、城陽市、長岡京市など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族同伴でバス（路線バス、コミュニティバス）を利用した場合、降車時に児童が「エコ・ファミリー」と申告してチケット（クーポン）を使用すると、大人1人につき、同伴の小学生以下の小児2人までが無料で利用できる。 <p>（2009年（平成21年）11月の土曜・休日を対象した期間限定のキャンペーン：京都府と地元市町が実施主体）</p>		
回数乗車券	<p>[普通回数券]：終日利用可能が原則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バス（阪急バス、高槻市交通局、尼崎市交通局など）では、普通運賃の10回分の価格に対して11回分利用できるものが基本。 ・ コミュニティバスでは、路線バスと同じ設定で販売している場合（明石市たこバスなど）の他、さらに割引率を高く設定している場合（長岡京市はっぴいバスなど）もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいバス専用の回数券を導入するのか。または、路線バス（阪急バス）の回数券を利用できるようにするのか。 ・ 販売する場合の割引率をいくりにするのか。 	
	<p>[昼間割引回数券]：昼間時間帯の利用が原則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南海バスでは、平日の昼間時間帯（10時～16時）及び土曜・休日の終日に利用できる割引率の高い専用のバスカードを販売している。（販売価格2000円に対して、2720円分利用可能） ・ 京阪バスでは、昼間時間帯（10時～16時）に利用できる割引率の高い専用のバスカードを販売している。（販売価格3000円に対して、4000円分利用可能） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスは、通勤・通学利用が主体であるため、平日の昼間、休日の利用促進として導入しているが、新しいバスにも導入するのか。 ・ 昼間割引回数券を導入するのか。導入する場合には、利用条件をどのようにするのか。（時間帯、曜日） 	
定期乗車券	<p>[通勤定期券・通学定期券]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急バス、阪神バス、尼崎市交通局など多くのバス事業者（路線バス）で導入されている。 ・ 千葉県習志野市、滋賀県高島市などのコミュニティバスでも定期券が販売されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期運賃（割引率）をいくりにするのか。 ・ 全ルートで利用できるようにゾーン定期券を設定するのか。 ・ 乗り継ぎ割引を導入する場合には、メリットはあるのか。 	

<p>1日乗車券</p>	<p>兵庫県明石市</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内 17 ルート全てで利用できる「1日乗車券」を大人用 400 円、小児用 200 円、親子ペア用 500 円で販売。 <p>京都市山科区</p> <ul style="list-style-type: none"> 醍醐コミュニティバス 5 路線で利用できる 1 日乗車券を 300 円（大人、小児同額）で販売。 <p>南海バス</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺市内の都心部を中心としたエリアで 1 日乗降自由な「堺都心 1 日フリーカード（バス限定版）」を大人用 450 円、小児用 220 円で販売。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ割引を導入する場合には、利用者にメリットがあるのか。 販売する場合の単価設定をいくりにするのか（概ね何回分の運賃を考慮するのか）。 車内で販売する場合は、券の種類が多くて複雑になる。 作成コストが高くなる。 	
--------------	--	--	--

4. その他収入

施策の種類	具体事例	課題・検討の視点	施策実施の有無
<p>広告料</p>	<p>路線図やバスマップ等への広告掲載</p> <p>バスの車体や車内への広告掲載</p> <p>ウェブサイトへの広告掲載</p> <p>ネーミングライツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸市交通局では、2008年度（平成20年度）より試験的に導入している（副名として路線図や停留所の表示、車内放送等に登場）。停留所最寄りのスーパーや学校などが採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 広告の掲載方法 広告の審査方法 掲載した広告の管理方法 	
<p>協賛金</p>	<p>商業施設等からの協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> 三重県津市では、2004年からNPOが中心になって、市民応援団、商店街、病院、スーパーなどが協賛金の出資や回数券を購入。 会費（市民向け）は、入会費2000円、年会費が1000円、協賛金は1口5000円～。 <p>医療施設等からの協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県加西市では、市街地循環線での病院利用者に回数券を無料で配布（病院側が運賃を負担）し、病院送迎のバスを兼ねて利用者の経済 	<ul style="list-style-type: none"> 協賛金の出資者に理解を得られるためのPR バスならびに施設等の利用促進・売上げ増進 	

<p>グッズ販売</p>	<p>的負担の軽減している。</p> <p>新しいバスに関連した商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市山科区の醍醐コミュニティバスでは、(2009年2月に)運行開始5周年を迎えた。記念式典の開催等に合わせて、醍醐コミバスグッズ(バスの絵が入った扇子)を販売した。 ・ 兵庫県小野市のらんらんバスでは、商工会議所よりらんらんバスの外装を施したバス型の玩具(チョコロQ)を、市内の店舗や通信販売で販売した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の選定とPR 	
<p>会費</p>	<p>地区・自治会・住民によるサポート制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島県国分市(現:霧島市)では、2001~2002年に行った実証運行に合わせてバスのサポーターを募集し、会員が会費を支払うことによりバス乗車時の運賃が無料となる制度を設けた。 <p>会費は3ヶ月分の一括払いで、大人2000円/月、小児1000円/月、家族割引700円/月(同居家族の2人目から)。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続性と住民・地域の理解 	

各班のアイデア			
---------	--	--	--